

※本リリースは鉄鋼研究会へ配布しております。

2025年7月31日

株式会社田中貴金属グループ

田中貴金属グループ、 脱炭素・循環型社会実現に向けてJEPLANとの事業提携を発表 ～貴金属回収プロセスにおける有機物（プラスチック）処理を構想～

株式会社田中貴金属グループ（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：田中 浩一郎）は、産業用貴金属事業を展開する田中貴金属工業株式会社における貴金属回収プロセスのCO₂排出削減と有機物の再資源化を目指し、株式会社JEPLAN（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 執行役員社長：高尾正樹、以下「JEPLAN」）と事業提携を行うことを決定しました。

本取り組みは、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に貴金属分野で取り組んできた田中貴金属と、プラスチック分野で取り組んできたJEPLANが協力し、脱炭素・循環型社会の実現を目指すものです。

■循環型社会実現に向けた田中貴金属のこれまでの取り組み

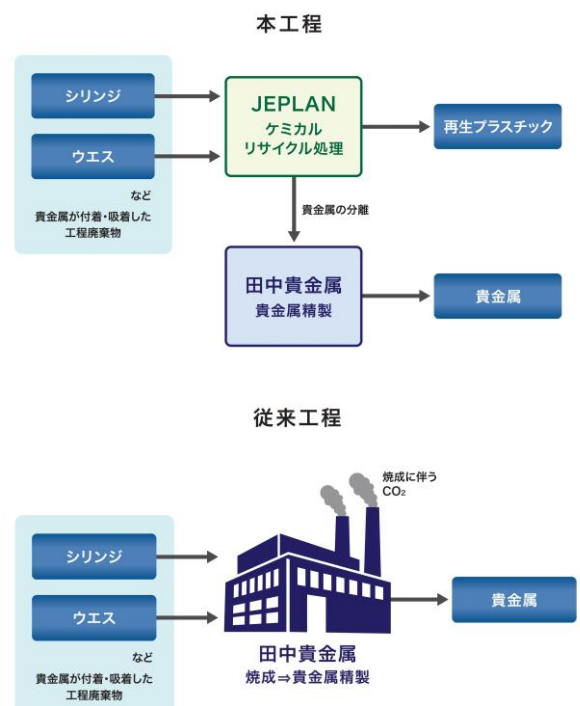
田中貴金属は1885年の創業以来、貴金属業界のリーディングカンパニーとして、希少な資源である貴金属のリサイクルに長年取り組んできました。中でも、顧客からリサイクルの依頼を受ける工程廃棄物のうち、有機物（プラスチック）を主成分とする貴金属が付着・吸着した工程廃棄物については、これまで焼成処理によって有機物を除去し、残った灰から貴金属を回収してきました。

この焼成処理では、環境規制物質の除去には対応してきたものの、有機物を燃焼させる過程で発生するCO₂の削減が脱炭素社会の実現に向けて課題となっていました。

■JEPLANとの事業提携により変わる貴金属回収プロセス

JEPLANは、プラスチックの一種であるポリエチレンテレフタレートを対象にした独自のケミカルリサイクル技術確立しています。上記、CO₂排出量の課題解決のため、田中貴金属はJEPLANとの事業提携で、従来の焼成による貴金属回収プロセスに加えて、将来的にケミカルリサイクル処理を利用することを検討しています。ケミカルリサイクル処理の対象は、シリンジ、ウエスなどのプラスチックを想定しています。対象となる貴金属回収プロセスにおけるCO₂排出量は従来の10%程度に抑えられる見込みです。

また、本プロセスでは貴金属だけでなくプラスチックの再生も可能であり、田中貴金属とJEPLANがそれぞれの専門領域で脱炭素・循環型社会の実現に貢献します。



【株式会社JEPLAN】

本 社 所 在 地：神奈川県川崎市川崎区扇町12-2

設 立：2007年1月

代 表 者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

主な事業内容：PETケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PETボトル・ポリエステル）など

公 式 H P：<http://www.jeplan.co.jp>

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃PET（PETボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、リサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

会社情報

■田中貴金属について

田中貴金属は1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、資産用や宝飾品としての貴金属商品を提供しています。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術開発において連携・協力し、製品とサービスを提供しています。2024年度（2024年12月期）の連結売上高は8,469億円、5,591人の従業員を擁しています。

■田中貴金属 産業用貴金属製品グローバルサイト

<https://tanaka-preciousmetals.com>

■製品問い合わせフォーム

田中貴金属工業株式会社

<https://tanaka-preciousmetals.com/jp/inquiries-on-industrial-products/>

■報道機関お問い合わせ先

・株式会社田中貴金属グループ

サステナビリティ・広報本部 広報・広告部

お問い合わせフォーム

<https://tanaka-preciousmetals.com/jp/inquiries-for-media/>